町内中学生の「カナダ研修記」

～言葉は通じなくても、通じあう心～

今年度の中学生海外研修事業として、本川根中・中川根中の2年生がカナダへのホームステイを行いました。現地ではホストファミリーの温かさに触れたり、コミュニケーションの難しさに戸惑ったりと、普段の生活では得ることのできない貴重な体験が満載だったようです。町の外を学び、この町の良さを改めて考える。この事業を通して、まちづくりの次代を担う人材を育てます。今月号と来月号の2回にわたり、「中学生海外研修感想文」をご紹介します。この研修を通して生徒たちは何を感じ、そして何を思ったのか。研修記をご覧ください。

ここに掲載している研修風景の写真は、本川根中学校、中川根中学校の両校を順不同にて掲載しています。

カナダ研修で実感したこと

本川根中学校
大村　洸太

僕は、今回のカナダ研修で、もっと英語の力をつけなければと痛感しました。ホストファミリーと話していても、意味がわからない言葉が出てきて、答えにつまってしまい、紙に書いてもらったり、パソコンで日本語に訳してもらったりしました。会話の面で、本当にたくさん助けてもらいました。また、ホームスティを通して、人との接し方や関わり方について改めて考えさせられました。食生活や文化の違いも実感しました。

この10日間のカナダ研修で、見たこと、感じたこと、発見したこと、感動したことは簡単に一言では言い表せませんが、この体験を家族やクラスの友だちに伝え、自分自身のこれからの生活に生かしていきたいと思います。このような機会を与えてくださった方々にとても感謝しています。

カナダでの経験

本川根中学校
今井　涼太

僕は、今回の海外研修で、自分の英語に少し自信が持てました。

カナダに来た当初、ホストファミリーとの会話が成り立たないことが多く、返事をするときも「イエス」か「ノー」で答えるぐらいでした。英会話の本は必需品として携帯していました。

でも、日数を重ねるごとに、英語研修で習ったことが、普段の生活に生きるようになり英会話の本は必需品ではなくなりました。

今回の研修では、英語圏の国で英語を学ぶという貴重な体験ができたので、日本での英語の学習に励んでいきたいと思います。

ホストファミリーの温かさ

本川根中学校
大村　真未

今回の研修で私は人の温かさを知ることができました。私のホストファミリーは、英語を上手に理解することのできない私のために、パソコンを使い日本語に訳してくれたり、私が理解できるまでゆっくりと話してくれたりととても親切にしてくれました。また、パーティーに行った時には、ホストファミリーだけでなく、その場にいた人たちが初対面の私をとても温かく迎えてくれ、私はとてもうれしかったです。初対面の人でも家族のように接するということは難しく、日本人の私たちには簡単にできることではないと思います。だからこそ私は、初対面の人にも温かく接することのできる人になりたいです。

今回の研修は、本場の英語を学びながらも自分の生活を見直すとともに、友だちや親の大切さを知る良い機会となりました。

カナダの人たちの優しさ

本川根中学校
岡本　実咲

私は、この海外研修でカナダの人たちの優しさをとても感じました。ホストファミリーの人たちは私にわかりやすいようにゆっくり、ていねいにしゃべってくれたり、手ぶりで伝えてくれて、とてもうれしかったです。いつでも「ミサ」と、笑顔で話しかけてくれたことも、私の不安の気持ちを消してくれました。

英語研修では、学校の英語の授業とは全く違うことをたくさんやりました。特に印象に残っているのは、ビンゴです。日本と違って数字のところにおはじきみたいな物をのせて行います。私は、このやり方を知ったとき、とても驚きました。

この10日間、カナダでしかできない体験をたくさんすることができ、本当に良かったです。

もう1つのマイファミリー

本川根中学校
中村　円香

私はこの研修で、たくさんのことを学び、たくさんの人と出会いました。その中でも、私にとってすごく大きな存在になったのがホストファミリーの皆さんです。英語がなかなかわからない私に、どんなときも最後まで優しく教えてくれました。家族と離れ、不安でいっぱいな私を本当の家族の一員として接してくれました。そして何より、どんなときも素晴らしい笑顔で私を見守ってくれました。こんな素敵な人たちと出会い、そんな環境の中で英語を学んで、私にとって、新しい発見がいっぱいのとても素晴らしい10日間になりました。距離や時間も離れているけど、ホストファミリーの皆さんは、私のもう一つの大切な家族です。人と人との出会いを大切にし、今回経験した全てのことを自信に、これからの英語の勉強に役立てていきたいです。

The best memory

本川根中学校
前川　恭佑

僕は、今回のカナダ研修で、ホストファミリーの方や現地の色々な方々との英会話を体験した中で、完璧な英語で答えられなくても身ぶり手ぶりを使い、自分の思いを伝えようとすれば、必ず相手に伝わるという喜びを知りました。

最初は相手の言っていることもよく理解できず、返事があいまいになってしまいましたが、一緒に過ごして行く中で段々と耳が慣れてきて相手の言っていることもわかるようになりました。ホストファミリーの方と過ごした日々、現地の学校での英語の勉強、アクティビティでの数々の貴重な体験、そして10日間の研修をともにやり遂げた仲間たち。僕にとって、最高の思い出です。この研修で体験し、学んだ様々なことを、これから色々な場面で活かしていきたいと思います。

海外研修会を終えて

本川根中学校
山本　裕太

僕は海外に行くのが初めてだったので期待と不安でいっぱいでした。

でもカナダに着き、ホストファミリーの人たちと対面したら不安はどこかに吹っ飛んでしまいました。

そして、僕がカナダで一番最初に思ったのは川根本町とは違った自然の美しさです。

ホストファミリーの人たちは僕を大好きな釣りにつれていってくれて、僕は大自然の中で釣りができたのでうれしかったです。

また、僕のホストファミリーの人たちはショピングにつれていってくれたり、野球を見に球場につれていったりしてくれました。

文化の違いも少しは学ぶことができました。とてもいい研修会でした。

カナダという外国に行って

中川根中学校
西原　命美

私がカナダという外国に行ってきて思ったことはたくさんあります。中でも強く思っていたのは日本で学ぶ英語は通じにくいということです。実際話すスピードはとても早く、単語をまったく覚えない私には何言ってるのかが全然わかりませんでした。生活の場に適するように無駄を省き、短くなっているものがたくさんありました。学校で習うような形式にそった英語はあまり使ってませんでした。英語を話したいのなら、短くとも1ヶ月以上は英語圏にいたいなぁ、と思います。

コミュニケーションを取るためには、しゃべれなくとも気持ちや表情、身ぶり手ぶりがあれば伝わることもわかりました。カナダの人は気が良くてだいたいのことは分かってくれました。町並みもきれいでとてもステキな所でした。今度は一人でのんびり旅行してみたいです。